

「防災塾・だるま」5月定例会 議事録

<http://darumajin.sakura.ne.jp>

- ◆日時 : 2019年5月26日 14:15~15:45 司会: 田中 晃
- ◆場所 : 桜木町さくらリビング第1研修室(桜木町ぴおシティ6階)
- ◆出席者: 池田、植山、荏本、小菅、高橋、高松、中島、山口(章)、田中(喜)、山田(美)、片山、田中(晃)、佐藤(忠)、玉井、佐々木、磯野、稲垣、早川、松原、中村(誠)、江上、河津(会員22名・一般参加3名) 計25名(敬称略)

■配布資料

1. 「防災塾・だるま」5月定例会議事次第
2. 定例会意見交換テーマ「災害時要援護者に期待されること」
3. 第168回談義の会「災害時に命を守る応災力」(6/28) 講師: 荻原洋聡氏
4. 「第14回コーディネーター養成講座」(日程・時間表)
5. 大井町防災まちづくりの会 10周年記念防災講演会(5/26)
6. 障害者を受け入れた熊本学園大学の避難所運営の経験(社会福祉学部教授 花田昌宣)
7. 第167回まちづくり談義の会次第(情報・5月)

<配布チラシ>

1. 大学と地域の防災・減災ミーティング(6/23)
2. 大井町防災まちづくりの会「防災安心BOX」

【定例会意見交換】テーマ:「災害時要援護者に期待されること」(資料②)・・・高松、田中(晃)、稲垣、田中(喜)、片山、河津、植山

- ・周りの人の中には、「そんなことは出来ない」という言う人がいたが、「私の避難行動10か条」は作る必要があると思っている。自分が要介護になったらどうなるのかと言えば、「家に居たきりになる」。自分の命は自分で守るという意思が必要ではないか。備えとして「10か条」を挙げたが、不足しているものはないでしょうか。
- ・ケアプランに記載されているからいいとか、決まっているからいいではない。ある意味ケアプランには杜撰なところがある可能性があり、ケアプランありきではない。
- ・エンディングノートを作る中でケアプランを作るのもいいのではないか。
- ・作られたケアプランの内容を点検するチェックポイント集の様なものはあるのか、素人が見て内容的に妥当なのか確かめることが出来る方法は?
- ・ケアプラン作りの際に漏れることもあり、そのことによって予後の度合いも変わることはある。
- ・介護保険には疑問を持っている。昔親の介護で家政婦を雇っていたが、今は受けるサービスに応じて人が代わる。テレビ番組でも分業でやるのではなく、一人で介護してもらうようにすることは可能であるし、介護の質が良くなるということだった。
- ・10か条の中にトイレのことが無いのは何故か?
- ・当たり前なこと載せていない。
- ・介護の経験のある人をボランティアとして派遣したこともある。
- ・首都圏で大災害が発生した場合、阪神淡路・東日本とかならぬ場合と違い、地方からボランティアは沢山来ない。ボランティア頼りではなく自分のやれることは自分でやるようにする必要が有る。
- ・西日本豪雨の際岡山県総社市のように、高校生がボランティア活動をしたという地域もある。
- ・横浜市では区からボランティアセンターに派遣要請がいくが、登録時に聞いた経験・職業をもとに派遣されることになっている。
- ・熊本地震の際に何故、熊本学園大学で要支援者を受け入れ支援ができたかという、人的には支援の中核となった教員研究者がいて、学生たちがいた。物理的には大学校舎がバリアフリーだった。大学組織が積極的に応援したことなどにより、4月14日の開設から5月28日まで24時間の支援体制が可能だった。
- ・岡山県真備町での死亡者の8割強は65歳以上の高齢者だった。高齢になればなるほどパニックになって動けず、2階に避難するとか出来なかったのではないか。

【I 主催・共催事業など】

1. 第14回「実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」(資料④)・・・中村
 - ・全ての講座予定講師からテーマの連絡があり、講座ガイドブックの原稿を本日大学へ提出した
2. J-DAG、3BWGの活動・・・片山
 - ・「防災めぐり(子供バージョン)」は、3年前の養成講座で大人バージョンを紹介した際に、子供バージョンはないのかという声から生まれた。パワーポイント版を作成中で7～8月頃完成予定。(有料配布中：だるま会員1,000円、一般1,500円)
 - ・J-DAGの城西大学(7/11・18)での実施については協力をお願いします
3. 「大学と地域の防災・減災ミーティング」(資料チラシ①)・・・荏本、山田(美)
 - ・6月23日(日)13時～17時(1号館1-804)、1部：講師3人の講演、2部：大学BOUSAI Clubの設立と活動の連携について、3部：防災ミーティングを開催するので、会員の参加、協力依頼
 - ・2部の「学生主体の防災減災活動の展開と連携促進」が難しいが、多くの学生を呼びたい
 - ・「ミーティング実行委員会」へは、だるまから鷲山・山田(美)の二人が参加している

【II 協力・参加・情報・その他】

1. 毎月の情報：情報提供に協力をお願いします
2. 「防災ギャザリング2019」(5/11)・・・高松、田中(喜)
 - ・500人を超える参加者があり、今回は“ペット”と“心のケア”に関わる新しい団体の参加があった。
 - ・今年は例年と比べ、子供の参加が多かった
3. 大井町防災まちづくりの会「10周年記念講演会」(5/26(日)13:30～16)・・・山田(美)
 - ・大井町の過去の災害について中根賢氏の講演が予定されており、地元の山田(富)さんが熱心に取り組んでいる。
4. その他・・・池田
 - ・10月11日(金)(14:00～16:00)川崎市健康安全研究所見学と岡部信彦所長の講演会
川崎市健康安全研究所 〒210-0821 川崎市川崎区殿町3-25-13

川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)2階(最寄駅：京急大師線小島新田駅徒歩15分)

バス：川崎駅東口または京急大師線産業道路駅)

【III 今後の予定】(だるまHPの「カレンダー」参照)

1. 2019年6月例会 6月28日(金) 会場：大学24号館310室 月担当：山田(美)、鷲山
 - ・3BWGプロジェクト 13:00～14:00 担当 片山
 - ・定例会 14:15～15:45 記録担当：中村
話題：「災害に立ち向かえる地域社会づくり」 担当：鷲山
 - ・第168回談義の会 16:00～17:30 記録担当：紅林
テーマ：「災害時に命を守る応災力」 講師：荻原洋聡氏(元海上自衛隊一等海佐)
 - ・役員会 6月4日(火) 10:00～12:30 851C
 - ・資料準備(当日) 6月28日(金) 12:30～13:00 851C
2. 2019年7月例会 7月26日(金) 会場：関内ホール地下2階 月担当：田中(栄)、早川
 - ・3BWGプロジェクト 13:00～14:00 担当 片山
 - ・定例会 14:15～15:45 記録担当：中村
話題：「検討中」
 - ・第169回談義の会 16:00～18:00 記録担当：紅林
テーマ：「意見交換会 みんなで考えてみよう」 講師：松山順三氏(元神戸市職員)
 - ・役員会 7月9日(火) 10:00～12:30 851C
 - ・資料準備(当日) 7月26日(金) 12:30～13:00 851C

以上

(記録：中村誠)